

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



いわむら えみ  
**岩村 恵美**  
(キセキ)

### 富士宮市の不登校児童生徒への対応

**問** 令和元年度から4年度までの、年間30日以上登校しない児童生徒数の推移。

**教育長** 小中合わせて令和元年度197人、2年度202人、3年度269人、4年度307人。

**問** その内、学校に復帰した児童生徒数は。

**教育長** 約2割。

**問** 不登校児童生徒が増加している要因は。

**教育長** 様々な要因が複合している。友だちとのトラブル、学習面や学校への不安、家庭環境、発達障がいやコロナ感染症拡大によるものなど。

**問** 学校以外の学習機会を確保する場所は。

**部長** 青少年相談センターの適応指導教室と一般社団法人サン・ビレッジの適応支援教室。

**問** 文科省の調査で、当事者である不登校児童と学校、教職員との間に認識のずれがあると発

表。当事者やその後の追跡調査などできないか。

**教育長** いつどのようにするか検討する。

**問** 不登校の対策支援員を今後増やす予定は。

**教育長** 適任の方がいましたら予算要求する。

**問** 「夢見る小学校」のように、校長先生の考え方で特色ある学校を作ることはできるのか。

**教育長** 現在も学校のグランドデザインという形で学校運営の計画をたてている。映画ほど自由度はないが、考え方は同じ。

**問** 「夢見る小学校」の上映会を学校関係者やPTAなどで上映できないか。

**教育長** 上映する企画があれば、後援する。

**意見** 市長や学校関係者、保護者など、多くの人に見てもらい、共感し動いていただきたい。

### 熱中症対策について

**問** 小中学校の熱中症の予防対策は。

**教育長** 環境省のアラートや、WBGT計測器等を活用し運動に関する5段階の指針を実施。

**意見** マスクが危険。外すことの重要性を指導して、大人からマスクを外してほしい。



わたなべ よしまさ  
**渡辺 佳正**  
(無党派)

### 少子化対策の重要課題として、非正規職員の処遇改善と正規化を進めるべきではないか

**問** 国は少子化対策の重要課題として、非正規労働者の正規化を掲げている。富士宮市の非正規職員が全職員に占める割合は県内の他市町と比べて断トツに高いが、これが正しいやり方だと考えるのか。

**部長** その時に必要な人材を確保しているので、正しいと考える。

**問** 特別支援学級支援員は専門的で継続性のある不可欠な仕事なのに、なぜ臨時的な非正規職員を充てているのか。

**部長** 支援員は担任を補助する役割と考えている。

**問** 国の配置基準が決まっている保育士も補助的な職員なのか。

**部長** 会計年度任用職員の保育士は、正規職員の担任を補助する立場で、正規と非正規では職務内容に大きな差がある。

### 県道・国道の草刈りと維持補修をしっかりと

**問** 県道・国道の歩道に繁茂する雑草の草刈りと維持補修を、国・県と連携してしっかりとしてほしい。

**副市長** 市民に迷惑をかけて事故を起こしては何もならない。議員から厳しい質問があったことをふまえ、国・県と十分な連携を取って進めていく。

### 放課後児童クラブ利用料の一人親世帯助成基準について

**問** 児童扶養手当受給世帯という基準を緩和して、市独自の基準で実施したらどうか。

**部長** 市の少子化対策推進本部で、本市における効果的な対応策を検討していく。

